

自己点検・評価「多摩美術大学 2000 - 2003」教育・研究 G 議事録

日 時：平成 16 年 7 月 27 日（火） 13：00～14：50

場 所：八王子キャンパス 新本部棟 3 階「会議室 3」

出席者：市川保道（グループ長 / 日本画）、室越健美（油画）、渡辺達正（版画）

森下清子（教務部長）

荒川 直（教務部事務部長）、田中誠二（造形表現学部事務課長）

河島吉成（教務・事務担当）、渡辺由美（同）

議事概要

1. 審議事項

前回に続き、各研究室からの報告書のすり合わせと疑問点の洗い出し等を行った。（グラフィックデザイン学科・美術学部共通教育・造形表現学部・入学試験・国際化・共同研究）

今後の作業とスケジュールの確認を行った。

2. 決定事項

美術学部の共通教育については、授業科目（担当者）ごとに細分化したものではなく、学則上の分類を基本とする（共通基礎教育科目、共通専門教育科目など）。また、美術学部と造形表現学部との学部間での他学部聴講の将来構想などについても記載する。

自己点検・評価は内部資料ではなく、公開を前提とした内容でなければならないため、大学全体でコンセンサスのとれていない学科内の運営上の問題（教員・助手・副手の増員など）や入学定員の増加策などは削除する。

研究活動は教員個人の研究活動は除く。

事務担当者（河島・渡辺）は、2 回のグループ会議での点検事項を赤入れし、各担当部署（研究室）に戻して手直しを依頼する。提出期限は進学相談会（上野毛）前の 8 月中旬頃とする。

最終的なグループ報告の纏め方としては、各学科の報告を最大限に生かして掲載するが、グループ会議での意見調整やプロセスを重要視して、審議内容を文章化し加えて載せるものとする。

未提出の研究室には再度督促する。（情報デザイン学科のみ）

次回のグループ会議は、必要が生じた場合のみ 8 月下旬頃に開催する。

以 上